

岩倉市タウンミーティング（西市ゆうわ会）会議録

日時 令和6年1月22日（月）

午後2時～3時

場所 ふれあいセンター研修室兼視聴覚室

出席者 西市ゆうわ会 22名

市長、副市長、健康福祉部長、長寿介護課長、介護保険グループ長、
長寿福祉グループ長、秘書企画課長、広報広聴グループ長、同担当職員

テーマ 後期高齢者施策について

1 あいさつ

- ・西市ゆうわ会 会長 安江 弘雄さん
- ・久保田市長

2 意見交換

【市民】

現在、パブリックコメントで第9期岩倉市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画が公開されている。健康に過ごしているのので、市で実施している後期高齢者施策をよく分かっていたが、これを読んで多く実施していると実感した。歳をとるに連れて市や国の制度を利用することが増えていく。できるだけ避けたいが、要支援、要介護になることもあると思う。逆に、そうならないようにすることが大切だとも思う。私は長寿介護課にはよくお世話になっているが、庁内の部署で協調して事業を行ってほしい。最近特に言われている地域共生社会の実践というところで、各部署が単独で実施するのではなく、一緒になって行うということをお願いしたい。

平均寿命と健康寿命の関係について、令和2年の国のデータによると男性が約80歳、女性が約86歳。それが健康寿命になると女性で73～74歳、男性は70歳程度。健康寿命になると差が少ない。寝たきりで寿命を増やしても介護費用がかさむだけなので、健康寿命を延ばすことが非常に重要なる。どうやって健康寿命をのばすのか、また差をなくすことの努力をお願いしたい。

【市長】

岩倉市で75歳以上の後期高齢者といわれる人は6,850人。人口全体の率として15%を切るぐらいの人がいる。団塊の世代が75歳以上になる2025年問題。2040年問題として団塊ジュニアの世代の皆さんも60歳以上になってくる。高齢化率が今後も伸びていく。こ

れは社会の人口構造からいって逃れることができない。

そんな背景の中で介護が必要になる方が増えていく。そこで大切なのはどうしたらよいか。岩倉市も健幸都市宣言をしている。健康で長生きをしていただけるような条例を制定した。日頃の健康づくり、基本的には食事と運動だと思う。少し気を遣うだけでも違ってくる。また、意外と大事なのが口腔内の健康で、誤嚥性肺炎を聞いたことがあると思うが、機能が落ちないようにすればそれも防げる。

いろいろな健康に関する施策も展開している。例えばシルバーリハビリ体操を地域の方が各地域で展開している。地域の皆さんがお互いに協力しあうということが大切になる。色々な方法があり、皆さんにあった方法でやっていただければいいと思うが、皆さんが意識をしていただくこと、それから実践していくこと。そうした政策をしっかりと展開していきたいと思う。多くの事業を実施しているので、皆さんにも知ってもらいたい。

【市民】

岩倉市も50年ほど前から名古屋のベットタウンということで住民を受け入れてきた。そのころは若い人が転入してきたが、その人たちが高齢者になってきた。そのような中で、私が危惧しているのが、買い物をする場所がなくなっていくということ。岩倉団地でもスーパーがなくなって、次に入ったドラッグストアがちょっとした食品を扱っている。ただ、そこも長く続けられるかどうか。なくなったのは事業として成立しなくなったからではないのか。車を運転できる人は移動ができる。西市町からだと近くで駅西のバローに行く。アピタまでは少し遠く感じる。ふれ愛タクシーもあるが、そもそもタクシーを呼んでもなかなか来ない。それに買い物のたびにタクシーを使うわけにはいかない。買い物について、市でも何か考えてもらいたい。

【市長】

買い物する場所の減少については問題だと思っている。岩倉団地のドラッグストアも見たが、生魚が無いだけで、スーパーに近い品ぞろえがある。それでも全てがそろうわけではないので、ご不便をおかけしていると思う。買い物については、スーパーに地域まで出向いてもらうか、皆さんを店まで行ける方法を確保するか。タクシーについても人手不足となっており、利用者の多い名古屋市に行ってしまう、なかなか来てもらえない。バスも検討したが、アンケート結果から皆さんの行くところが様々だった。そうすると1時間くらい待たなければいけない。そうした理由から現在のふれ愛タクシーの制度にしているが、運転手がないというところで我々も困っている。車の運転も高齢になると難しくなるため、問題意識は持っている。民間の事業者とも協力して解決に向けて動いていきたい。

【市民】

他の地方では、市民の車をタクシー代わりに使用という話がある。岩倉市としてはどう

か。

【市長】

交通空白地域ということ駅から遠い地域で市民タクシーを検討したことはある。高齢化に伴う事情で、運用しているところもあるが、岩倉市としては運転手のリスク、責任の部分もあるため、勉強していきたい。

【市民】

是非前向きに検討してもらいたい。自転車にも乗れなくなる人も増えていくと思う。

【市長】

老化防止にもなるので、外出支援という視点でも勉強させていただく。

【市民】

区の仕事をやっている中で、保健推進員の制度が来年以降変わると聞いている。健康増進について、一定貢献していたのに、なぜ制度が変わるのか。

また別件で、死亡した人の情報が非常に遅いということもある。亡くなったことについてはお悔やみ申し上げるが、区の立場としては、情報が縦割りになっているのではないかとも思う。何か対応をしてもらいたい。

【市長】

保健推進員は「健幸づくりサポーター」という新しい役割を持つ人に代わる。区にお願いして保健推進員を選出してもらっていたが、地域の中で健康を守るリーダーの役割を担うことになる。しかるべき時期がきたら、また内容をお知らせしたいと思う。

亡くなった人の情報、昔ならすぐに聞けたということもある。コロナ前と後でガラッと変わってしまった。お悔みができる場所があるといいとは思いますが、最近だと家族葬が多くなった。家族葬といっても地域の人が参列できるなど、地域によってニュアンスが違う。亡くなった人の情報を流すルールがあればよいが、家族がお知らせしたくない場合もある。市としてはルールを設けるのが難しい。

【市民】

答えがない問題に対して答えを出さなければいけないというケースもあると思う。ただ、一人暮らしの方を早めに見つけられる手立てを市のほうでも立てていただければと思う。

【市長】

郵便局や新聞配達の業者などとも協力して一人暮らしの人をサポートする体制は引き続き整えていきたい。

【市民】

宮前町に住んでいる。岩倉市全体としても一方通行等の交通規制が多い。私の家の前の道路は歩行者専用道路になっている。そこに住んでいる人以外は年間の通行許可を受けることができない。車が中に入ってくる都度に許可を受ける。タクシーを呼んでも角まで来てくださいと言われ、駅から乗っても角で降ろされる。他にもいろいろな業者が角で止めて歩いてくるようになっている。そういうこともあり、一度全体として見直してほしい。通学時間だけ通行止めなど、市ではないかもしれないが検討してほしい。

【市長】

交通事故という面でみると岩倉市は自転車原因となる事故が愛知県でも上位になっている。それは意見をいただいたとおり、道が狭かったり区画整理がされていなかったり、交通ルールを守らないという理由がある。交通安全については引き続き取り組んでいきたいが、交通規制については警察の範疇となる。規制をかけることも最近はより厳しくなっている。抜け道として生活道路を物凄いスピードで走る車があるので、規制がかけられないか掛け合ったこともあるが、難しいとの回答であった。歩行者専用道路は知らなかったもので、もう一度市全体を見回して考えていきたい。

【市民】

ゆうわ会でグラウンドゴルフを週3回はなのき広場でやっている。グラウンドの整備も行っている。周りに植木があるが、その剪定は1年に1回しか実施されない。夜間の照明もない。安全面も考えてもう少し剪定の頻度を増やしてほしい。

【市長】

環境整備について手の届いていないところがあり、申し訳ないと思う。担当部署とも話をして、頻度についても検討していきたい。

【市民】

収集場所のゴミ箱について、西市として木製のものを11個くらい自作した。市の指定の既製品であれば、3万円ほど補助される。自作した木製のものは補助されないがどう考えているか。

【市長】

ゴミ箱について、木製のものを作っているということでお礼申し上げる。市としては既製品を紹介しており、自作した部分については補助金のルールに当てはまらなかったのだと思う。目的にあった取り組みに対して補助金が行き渡らないのは申し訳ないと思う。この場で結論の返事はできないが、一度見直しを含めて検討していきたい。

【市民】

ゴミ箱の話について、ルールにあてはまらないということで補助金が出ないことに納得はしたが、それで終わりになってしまうのか。補助が出るものにしても6万円の既製品は2か所設置したが3か月で壊れた。私たちの手作りは2万円のできる。早い段階で補助金が出るようになれば、他の地域にも波及すると思うので、ぜひ前向きに検討してもらいたい。未だにゴミ出しのルール違反で荒らされている姿もよく見る。そういうことを早く無くしたいという取組なので、ぜひスピードアップして検討してもらいたい。

【市長】

私のマニフェストに書かれていることで、ゴミが散らばっていて荒れた状態というのは、まちの品格にもかかわることだと思うので、私の方からも担当部署に話をしていきたい。

【市民】

犬のフンの放置が非常に多く困っている。市にも相談はさせてもらっている。やわらかい表現の注意書きをいただいて設置したが全然片付かない。今日も片づけに行ってきた。警察にも相談したが、よく取り合ってくれなかった。もう少し厳しめの警告も考えてほしい。

【市長】

モラル、マナーに訴えるというところで、厳しめの看板も一つの手だと思う。工夫をした看板を設置していきたい。

【市民】

すこやかタクシーの申込書の配布について、会員以外の人にも積極的に配布をしようと考えている。西市の高齢者30人ほどに配布した。班長が日頃付き合いのない人のポストに入れてもどこまで効果があるのか疑問を感じた。それよりも介護事業所など付き合いのある人から渡されたほうがいいのではないか。その人のニーズを知っている人であれば、もっとタクシーの必要性を周知できるのではないか。

また、主要施策の成果報告書の数値について市民一人あたりいくらと書いてあるが、後期高齢者の施策については、後期高齢者一人あたりいくらと書いてもいいのではないか。

そのほうがより分かりやすいと思う。

【市長】

すこやかタクシーの券は、ヘルパーに依頼することもある。誰が配布するにしても確実に手元に届くことが大事だと思う。

報告書の数値については勉強させてほしい。いろいろな事業で対象者が絞られるので、一度研究をしていきたい。

5 おわりの挨拶

・副市長

午後 3 時終了